

プロトコール名 大腸癌 ベクティビックス療法

適応 KRAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

投与期間 2週を1コースとして、効果がある限り継続

投与計画

薬剤名	基準量
ベクティビックス	6 mg/kg

KRAS遺伝子野生型を確認

年 月 日

薬剤名	投与量	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
ベクティビックス	6mg/kg		↓													

- ①生食100ml(ルートフラッシュ用)
- ②生食100ml+オルガドロン4A(30min)
- ③生食100ml+ベクティビックス 6mg/kg (1hr) **投与前、生食にてルートフラッシュ**
- ④生食50ml (5min)

投与後1時間経過観察！

生食100ml	オルガドロン 生食100ml 30分	ベクティビックス 生食100ml 1時間	生食50ml 5分
---------	--------------------------	----------------------------	--------------

投与後1時間経過観察！

ベクティビックスは生食で希釈すること

ベクティビックスは0.22ミクロン以下のインラインフィルターを通して投与すること

定期的に血中マグネシウム濃度測定をおこない、必要に応じて補正をおこなうこと
皮膚症状に対しては、セット処方をも有効活用すること

●休薬・減量基準

・ベクティビックスによる重度(Grade3以上)の皮膚障害発現時は以下の表を目安に用量調節をおこなうこと

皮膚障害発現時の ベクティビックスの投与量	投与の可否	投与延期後の状態	ベクティビックスの用量調節
6mg/kg	投与延期	6週間以内に Grade2以下に回復	減量なし 又は 4. 8mg/kgへ減量
4. 8mg/kg	投与延期	6週間以内に Grade2以下に回復	3. 6mg/kgへ減量
3. 0mg/kg	投与中止		

※6週間以内にGrade2以下に回復しなかった場合は、ベクティビックスの投与を中止すること